

7人の才能が集う 歌と音楽の極上ハーモニー

第4回

SPクラシック・
コンサート

華麗なる音楽の夕べ
ミュージック・フェスティバル



打本 尊尚
Flute

©NAKAMURA Yutaka



松井 利世子
Violin

©Simura



永田 一郎
Piano

©Hiroko Nakano



榎本仁子
Soprano



Conductor

©NAKAMURA Yutaka

宮田 悠貴
Harp



杉尾 真吾
Bass
Baritone

©深谷 義直/aura.

Orchestra : はまくと仲間たちオーケストラ

2018年10月18日(木)

開場 17:30 / 開演 18:30

東京芸術劇場
コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より
徒歩2分。駅地下通路2b出口と直結しています。

Program

- モーツァルト: 「フルートとハープのための協奏曲 ハ長調 K299」
- シベリウス: 「ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 Op.47」
- 華麗なるオペラの世界
アルディーティ: 「くちづけ」(ソプラノ)
ロッシーニ: オペラ《セルビアの理髪師》よりバジリオのアリア「陰口はそよ風のように」(バスバリトン)
ペッリーニ: オペラ《カプレーティとモンテッキ》よりジュリエッタのアリア「ああ、幾度か」(ソプラノ)
ヴェルディ: オペラ《ドン・カルロ》よりフィリッポ2世のアリア「ひとり寂しく眠ろう」(バスバリトン)
モーツァルト: オペラ《ドン・ジョヴァンニ》より「手に手をとって」(バスバリトン、ソプラノ)
- ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番 ハ短調Op.18

SS席:7,000円 / S席:6,000円 / A席:5,000円

チケット

一般発売日 2018年6月20日

前売 東京芸術劇場ボックスオフィス

チケットぴあ <http://pia.jp>

〔TEL〕0570-010-296 10:00~19:00(休館日を除く)

〔PC〕<http://www.geigeki.jp/t> 〔携帯〕<http://www.geigeki.jp/i/t>

PCコード 120-475 セブン-イレブン、サークルK・サンクス、チケットぴあ店舗



主催:株式会社 SPプランニング 〔TEL〕090-3227-9895 〔MAIL〕info@sp-planning.biz

後援:豊島区 協賛:不眠症改善の隠れ家サロン「minfull」、ウェブソフト 協力:NIPPON SYMPHONY

※団体以外のチケットに関するお問合せは、東京芸術劇場ボックスオフィスに直接お電話にてお問合せください。

公演に関してのご注意

※やむを得ぬ事情により、曲目・出演者等を変更又は中止する場合がありますので、ご了承ください。

※一度お求めいただいたチケットは、公演中止の場合以外はキャンセルできません。 ※未就学児の入場・同伴はご遠慮ください。

松井 利世子 Riyoko Matsui

Violin

3歳よりピアノ、7歳よりヴァイオリンを始め、これまでに滝沢達哉、故 江藤俊哉、江藤アンジェラ、辰巳明子、徳永二男の各氏に師事。室内楽を岩崎嶺、藤井一興の各氏に師事。

桐朋学園子供のための音楽教室を経て、桐朋学園女子高等学校音楽科を卒業。桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業、同大学研究科修了。

全日本学生音楽コンクール、高校の部入選。江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第1位を受賞し、東京都交響楽団と共演。その後ヨーロッパにおいて数々の著名な先生のマスタークラスを受講する。

大学在学中にコロムビアMEよりファーストアルバム「Fatasia」をリリース。同時に、四川省政府主催の国際音楽祭に招待される。

その後、イタリアにおける国際音楽コンクールIBLA Grand Prizeにて最高位並びにバッハ賞、同じくイタリアにてミケランジェロ・アバド国際ヴァイオリンコンクール第2位を受賞。翌年、アメリカで催されたIBLAガラコンサートに招かれ、ニューヨークカーネギーホールを皮切りに数都市でのツアー公演に出演。

環境問題などを中心に社会貢献活動にも取り組んでいる。

最近では、メンデルゾーン・ブルッフ・チャイコフスキーの協奏曲を演奏し好評を得ている。また、ソロリサイタルとともに「トウキョウ・モーツァルト・プレイヤーズ」などのオーケストラに参加、「ハイドンシンフォニエッタ東京」のリーダーを務めCDをリリース、室内楽にも活動の場を広げる。メジャーデビュー 10周年記念リサイタルを銀座王子ホールで行い、記念CD「シューマンヴァイオリンソナタ1番・2番」を発売。

その後「グリーン・ヴァイオリンソナタ全曲集」をリリース。

雑誌「音楽の友」に、『松井のアプローチは実に自然である。緊張と弛緩、明暗や動静といった相反するファクターを鮮やかに対比させながら提示し、緊密で凝縮された音楽世界を丹念に構築している。』と好評される。また同社発行の『保存版「ヴァイオリン&ヴァイオリニスト」日本・海外演奏家363人/名工9人』に掲載される。

永田 一郎 Ichiro Nagata

Piano

1985年鹿児島市で生まれ、3歳からピアノを始める。

14歳までに南日本ジュニアピアノコンクール、日本ピアノ教育連盟主催ピアノオーケストラ、全日本学生音楽コンクール等で受賞、ならびにポーランド国立クラフフ室内管弦楽団と共演。

15歳から8年間米国へ留学。留学中、Harvard Musical Association's 2004 High School Achievement Awardにて優勝、ボストン市内にて優勝記念コンサートに出演。2007年に母校の高校の新校舎設立記念コンサートにて地元オーケストラと共演。

2008年にボストン大学(生化学・分子生物学専攻)卒業後帰国。翌年順天堂大学医学部へ入学。在学中ショパン国際ピアノコンクール in Asiaへ数度出場し、アジア大会にて受賞。2013年ポーランド・シレジアフィル管弦楽団と共演。

これまでに鍵岡真知子、Roberto Poli、Monica Godoy Tessitore、東郷和子各氏に師事。

現在、メディボリス国際陽子線治療センターで医師として診療を行う傍ら、鹿児島大学大学院博士課程(放射線診断治療科)に在籍。

榎本 仁子 Hitoko Enomoto

Soprano

武蔵野音楽大学別科声楽科を優秀な成績で終了。青山女声合唱団、ロイヤルチャンバーオーケストラ合唱団にて、指導者の上月光に見出され、本格的に声楽を学ぶ。二期会のエッセテノール、樋口達哉、照屋篤紀に師事。日本人には日本人には珍しく、豊かで伸びやかな透明感の高い美しい声で聴衆を魅了する。コロラトゥーラのテクニック、強く密度の高いアクトを併せ持ち、また粗削りながら、一流のソプラノ・ドラマティック・ダジリタになれる素質を持っている。広い音域、多彩な輝きを放つ声質で、バロックから現代ものまで幅広いレパートリーを持つが、特にフランスオペラの ariaや歌曲の評価が高い。及川音楽事務所主催のガラコンサート、サロンコンサート等々、各種コンサートにて演奏活動を行っている。

杉尾 真吾 Sugio Shingo

Bass Baritone

埼玉県出身。武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。第6回東京国際声楽コンクール新進気鋭声楽家部門第3位受賞。第68回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。在学中に卒業演奏会、選抜演奏会など多数出演。またオペラでは、『ラ・ボエーム』コッリーネ役、『フィガロの結婚』フィガロ役、『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、小澤征爾音楽塾オペラ『子供と魔法』、松竹制作『蝶々夫人』ボンソー役、新宿区民オペラ『ナブッコ』ザックリヤ役など数多くのオペラに出演。またオペラ以外では、ミュージカル『グランドホテル』ウィット役、TBS制作ドラマ『IQ246』、フジテレビ制作『芸能人特技王決定戦 TEPPEN』出演など幅広いジャンルにて活動している。声楽を谷友博、横山修司、M.レアール、F.タルターニャ、C.コロンバーラ、各氏に師事。藤原歌劇団準団員。2018年の1月よりオペラ歌手として本格的に復帰し、勢力的に活躍の場を広げている。

打木 真乃 Mano Uchiki

Flute

横浜生まれ、横浜育ち。フルートを小学6年生から始め、小関めぐみ、光山香代子に師事。北鎌倉女子学園高校音楽科で益山弘熙に師事し、洗足学園短期大学管楽科(現洗足学園音楽大学)では甲斐道雄に師事する。西コネチカット州立大学にてジュリアスパーカーのマスタークラスを修了、パーゼル音楽院及びフライブルク音楽院の教授フェリックススレングリのマスタークラスを修了した。

2002年に、みなとみらいホールでデビューソロリサイタルを披露して以来、横浜を中心にコンサート開催し、好評を博する。

横浜手234番館やイギリス館、大倉山記念会館、他での洋館サロンコンサートに出演。横浜市中区役所主催(横浜観光コンベンションビューロー後援)の「日本大通りコンサート」や「RAエッセル伊勢佐木(横浜松坂屋西館-横浜市歴史的建造物認定)「フライデーコンサート」に出演するなど、地元根差す活動を意識してきた。その他、紀尾井ホールでのイリーナ・メジュエワ(Pf)とのジョイントコンサート(懐かしの響き)に出演、横浜市都筑公会堂での4時間マラソンコンサート等を経て、2014秋には東京芸術劇場で東京の秋ミュージックフェスティバルに出演。NIPPON SYMPHONY 指揮: 新田孝(モーツァルト:フルート協奏曲第二番D-dur)との念願の共演を果たした。

クラシカル音楽を礎としてソロだけに拘らず、フルート2本とピアノでのトリオやジャズ・ボサノヴァ・ポップス等のプレイヤーとのセッションも多数。箏との日本伝統音楽等も共演してきた。近年では0歳児から参加できるファミリーコンサートを定期的に開催するなど幅広い演奏活動を今後も目指す。

使用楽器 SANKYO 14K (メカニズム、台座、ポスト=銀製)

宮田 悠貴 Yuki Miyata

Harp

5歳よりピアノを、6歳からアイリッシュ・ハープを、11歳からグランド・ハープを始める。東京芸術大学音楽学部附属高等学校を経て、同大学音楽学部器楽科へ入学。卒業後渡仏し、リヨン国立高等音楽院ハープ科へ入学。2015年にフランス国家音楽家専門資格(DNSPM-Diplôme national supérieur professionnel de musicien-)を取得し、卒業。同音楽院卒業後は、アナポリス・シンフォニーオーケストラ、読売日本交響楽団を始め、日・仏・米と国内外のオーケストラ・室内楽団にて演奏活動を行う。

また、リヨン第三大学にてオーケストラ指導(アシスタント指導員)を行う傍ら、ピアノ・ヴァイオリンの曲からハープ・ソロ曲への編曲も手がける。現在ではソロ・オーケストラでの演奏活動以外にも、作曲からの演奏録音、楽曲初演も精力的に請負い、フランス・アヌーシーの財団 Scene National de bon-lieu Annecyからの依頼で、モダンダンスのPVに演奏録音参加。また、アメリカ人作曲家でパーカッションニスト、ピアニストでもあるマルチ演奏家の Luiz Santos 氏からのハープのソロ曲、室内楽曲の楽曲提供を受ける等、国内外で活動中。第14回イタリア「Luigi Zanucoli」国際コンクール・ソリスト部門・第2位、2015年度ウイーン「Solist. EU」コンクール合格後ウイーン・東欧内指定オーケストラとのコンチェルト共演権獲得、第20回日本ハープコンクール・アドヴァンス部門・入賞、第6回大阪国際音楽コンクール弦楽器部門・第3位、第17回茨城の名手・名歌手たちオーディション合格後出演等受賞多数。これまでに、迫元宣子、篠崎史子、木村茉莉、ファブリス・ピエール、シルバン・ブラッセル、グザビエ・ドゥ・メストレ、ジャズをパーク・スティックニー、室内楽をディディエ・ブントス、講習会等でイザベル・モレット各氏に師事。

濱一 Hajime Hama

Conductor

国立音楽大学を首席で卒業、同大学より矢田部賞受賞。第63回読売新人演奏会、ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。国際芸術連盟より奨励賞を受賞。ホルンをロベルト・フロイント、安原正幸、千葉馨、守山光三の各氏に師事。指揮法をウラジミール・フェドセエフ氏、湯浅勇治氏に師事。室内楽をアンリエット・ピュイグ、ロジェ女史に師事。国立音楽大学同調会評議員、日本ホルン協会理事。諏訪交響楽団音楽監督・常任指揮者。

はまくんと仲間たちオーケストラ

Hamakun to Nakamatachi Orchestra

Orchestra

文字通り、長野県諏訪市の中小企業社長はまくん(濱一)の仲間が集まってできたオーケストラ。はまくんが音楽監督を務めるアマチュアの諏訪交響楽団(諏訪市)と、松本市に拠点を置く信州大学交響楽団OBの有志を土台に、はまくんの国立音大時代、ともに音楽を学び現在一流音楽家として各方面で活躍するプロの演奏家達を交えた、アマチュアと一流のプロが一緒にオーケストラで楽しく演奏するという不思議なオーケストラである。

くだけたネーミングに反し、奏でる音楽は極めて硬派。2012年より演奏会を重ね、現在もプロアマ問わず楽しい音楽の時間を求めて仲間たちが増殖中。2015年3月には初のウイーン公演を行ない満席の楽友協会大ホールにて好評を博した。

恵比寿 隠れ家サロン

minfull

恵比寿駅東口から徒歩5分、不眠症改善の隠れ家サロン『minfull』

- ☑ メスを使わず脂肪細胞を死滅させる話題のマシーン『脂肪冷却』
- ☑ 自律神経の乱れを整える『ゆるゆるメソッド』
- ☑ メスを使わずに視力回復が目指せる『アイサイト』



お問い合わせ: enjoyuko.1@gmail.com